



# 株式会社ラクロ SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 長嶋 史弘

## SDGsの達成に向けた取り組み

### 埋蔵文化財調査会社として『いま』の社会に貢献できる企業を目指す

- ・歴史ある川越市を拠点として埋蔵文化財調査を本業としている当社は、先端技術を調査に採用し、迅速かつ正確に『文化財の価値』を後世へ伝えることを目指しています。
- ・そのため、発掘調査に様々なデジタルトランスフォーメーション『ドローン、3Dスキャナ、注記マシン(※)、ハイスペックPC、他』を導入し、調査精度の向上と調査期間の短縮を両立させ、『いま』の社会に貢献していきます。
- ・社内業務の効率化や資料の電子化を更に進め、紙で出力する資料を削減していきます。
- ・社会貢献活動として、発掘現場で文化遺産に関する説明会を実施し、子ども達や地域の方々へ文化財に関する学びの場を提供していきます。
- ・また、様々な地域活性化への取り組みや地域への協賛活動を継続的に行っていきます。(Vtuberや地元サッカーチーム、祭りへの協賛、等)

(※) 注記マシンとは、PC入力した文字データを専用のプリンターで遺物に出力する機械です。注記マシンを利用することにより、遺物の破片ひとつひとつに出土遺跡名や出土地点、日付といった情報を効率的に書き込むことが可能となります。

#### 【指標】

2023年 コピー用紙の購入枚数 30,000枚 ⇒ 2030年 15,000枚 (▲50%)  
 2023年 地域貢献となる寄付や協賛活動の数 5件/先 ⇒ 2030年 15件/先 (+10件)  
 文化遺産に関する説明会の実施回数 ⇒ 2030年まで 累計 10回

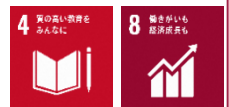


### 発掘調査という特殊なスキルを次世代に継承していく

- ・若手の地域人材を積極的に採用し、技術と知識を兼ね備えたベテランが若手を指導することで、次世代の専門人材を育成していきます。
  - ・また、文化財に関する資格保有者(埋蔵文化財調査士(※)、他)を増やしていきます。
- (※) 埋蔵文化財調査士とは、発掘調査から報告書作成まで一貫して責任を持てきる専門家であることを示す資格です。

#### 【指標】

若手従業員の採用 ⇒ 2030年まで 累計 4名  
 2023年 埋蔵文化財調査士/調査士補 0名/2名 ⇒ 2030年 2名 (+2名) / 5名 (+3名)

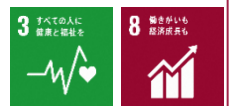


### 従業員がみな健康で安心して働ける職場を目指す

- ・従業員の健康の維持増進に努めるとともに、ワークライフバランスに配慮した働き方を推進していくことで、有給休暇消化率100%を目指します。
- ・また、発掘現場での安全対策を徹底し、従業員のケガや事故ゼロを継続していきます。

#### 【指標】

2023年 有給休暇の平均消化率 50% ⇒ 2030年 100% (+50%)



### 女性の活躍を積極的に推進し、ダイバーシティ経営を実践する

- ・誰もが安心して働ける制度や職場環境をつくり、女性の意見を積極的に取り入れるとともに、女性の活躍を推進していきます。
- ・再就職したい女性を積極的に採用していくほか、女性のリーダーを計画的に育成していきます。

#### 【指標】

2023年 女性従業員の割合/女性リーダーの数 38%/1名 ⇒ 2030年 50%/3名

